

ナシの授粉用花粉の採取、貯蔵と取り扱い

農業研究センター 果樹研究所 落葉果樹部

研究のねらい

ナシの高品質生産安定のためには、人工授粉用の発芽率の高い花粉が多量に必要である。しかし、花粉の採取、貯蔵及び貯蔵花粉の取り扱い方法については、農家によって多少の違いがあり、問題も多い。

そこで、授粉用花粉の確保、貯蔵法及び出庫後の取り扱いについて検討した。

研究の成果

1. 授粉樹は、花粉の量や発芽率からみて、二十世紀、長十郎、豊水、新興、長寿の順にすぐれる。また、授粉用花粉は、切り枝花より樹上花、衰弱樹より健全樹、短果枝花よりえき花芽花がすぐれる。したがって、県下では豊水の植栽が増えており、豊水のえき花芽花の花粉を使用すれば、新興などの授粉樹の植え付けが不用となる。
2. 次年に使用する花粉の発芽率は、低温で貯蔵するほど、また出庫後段階的に温度を上げるのではなく、出庫後なるべく早く使用するほどすぐれている。
3. 貯蔵花粉は、出庫後直ちに薬包紙などに分包し、茶筒に入れ密封し、それをクーラーなどに入れてできるだけ低温の状態で見場に持参する。
4. 人工授粉に使用する花粉は、結実率、果形、1果重並びにL級以上の果実の比率などからみて、粗花粉のままでの使用が望ましいが、精選花粉を稀釈して使用する場合は、石松子で5倍までの増量が限度である。

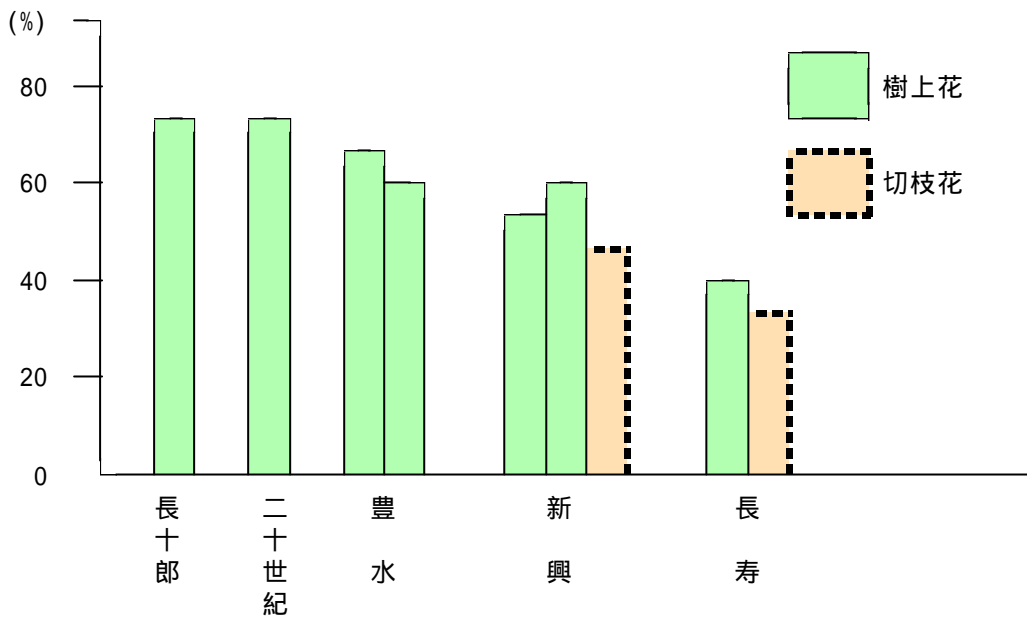


図1 花蕾の着生条件と花粉発芽率

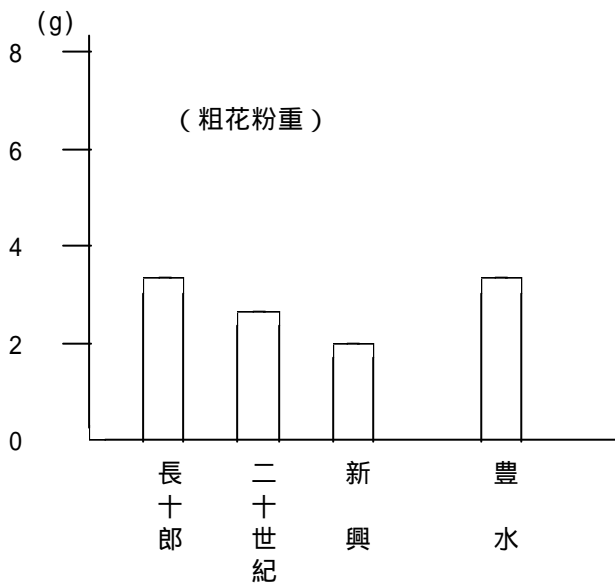


図2 品種別花粉採取量 (花蕾1000個分)

表1 貯蔵花粉1年後の発芽率 (昭和59年熊果試)

貯蔵温度	出庫後の処理	発芽率
-30	2 1日	40.0
	2 2日	51.3
	-10 1日、+2 1日	54.3
	-10 1日	55.0
	出庫直後	74.5
-10	2 1日	29.0
	出庫直後	30.7
2	出庫直後	27.3

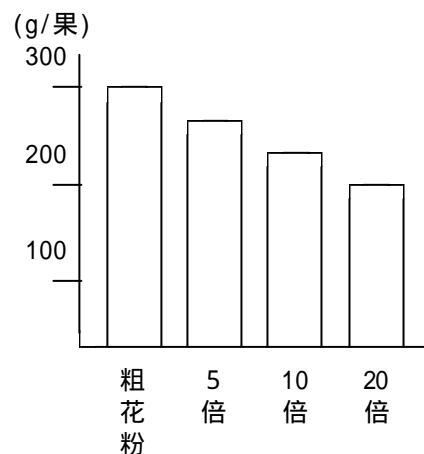


図3 希釈倍数と1果実 (昭和60年)